



11月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

10月になっても陽射しが強くて、ポロシャツで過ごすことが多かったのですが、流石に下旬になると随分ひんやりしてきました。園庭の木々は、大急ぎで赤や黄色に色付いています。

さて先日の23日（火）、高倉中学校の3年生が「ふれあい体験」として幼稚園にやってきました。

「嵩（かさ）」で言う「プレイランド（中庭）ちょうど一杯分」の約70名が、午前中の2校時+お昼ごはんまでと、昨年より人数も時間も拡大版で来てくれました。

色々と工夫した遊びや小道具も用意していましたが、それ以上に「幼稚園のこども」がどういふもので、どのように接するべきかを一所懸命に考えてくれたようです。というのも当日は、ことさらハイテンションになるわけでもなく、また独りよがりになるわけでもなく、幼稚園のこどもたちのペースやリズムに合わせて、優しく受け入れながら過ごしてくれたからです。見守った教諭たちの印象も「落ち着いている」「優しい」「（こどもたちを）受け入れてくれている」というものでした。

体験の最後に全員が集まり、代表の生徒が「こどもたちを可愛い、愛しいと感じて、自分たちが守ってあげたいと思いました。」と挨拶してくれました。

依頼されていたので「園長から一言」は用意していましたが、代表生徒の言葉と、中学生たちの顔を見て、「みなさんが感じた『可愛い』『愛しい』という気持ちと同じように、みなさんのお父さんやお母さんも、今ここに居られる高倉中学校の先生も、そしてわたしも、みなさんを『可愛い』『愛しい』と思っています。今日、その事にも気づいてくれたら嬉しいです。」に替えましたが、感じたままを口にしたので上手く伝わったかどうか。

こどもたちから神様の「愛」を感じる人が多い幼稚園という場ですが、中学生たちからも同じように恵みを受けた1日でした。

年主題 『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

<年主題聖句> 「愛する者たち、
神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、
わたしたちも互いに愛し合うべきです。」
(ヨハネの手紙Ⅰ 4章11節)

11月主題 『ありがとう』

<聖句> 「わたしはまことのぶどうの木」
(ヨハネによる福音書 15章1節)